

目次

はじめに	菊地 俊夫
第1章 「観光」ことはじめ	
(1) 観光とはなにか その歴史とまなざしを探る	菊地 俊夫 2
(2) 巡礼と観光 中世から続くサンティアゴの道	松井 圭介 11
(3) 創り出される聖地巡礼 長崎カトリック教会の事例	松井 圭介 20
(4) 湯治という観光 もつ一つの日本の観光の原点	山本 充 30
「コーヒープレーク」観光としての江戸下町谷中の「七福神巡り」	菊地 俊夫 42
「コーヒープレーク」わたしがつくる谷中周辺の徘徊マップ	官尾 美奈 48
第2章 娯楽や教養がつくる観光 グランドツーリズムとしての観光	
(1) 避暑から始まる観光 かくして軽井沢は日本の観光地になった	菊地 俊夫 52
(2) 娯楽の舞台と観光 江戸時代の観光	森 慎一郎 64
(3) スポーツと観光(一) ヨーロッパアルプスのスキー観光	呉羽 正昭 75
(4) スポーツと観光(二) 日本のスキー観光	呉羽 正昭 86
第3章 観光の大衆化 ハードツーリズムとマスツーリズムの時代	
(1) デイズニerlandが変えた観光のスタイル	菊地 俊夫 102
(2) ハードツーリズムとしての観光	菊地 俊夫 102
(3) 海外旅行という観光スタイル	小原 規宏 112
(4) 観光都市ウィーンに学ぶアーバンツーリズム	山本 充 120
(5) 東京のアーバンツーリズム	有馬 貴之 133
(6) 「コーヒープレーク」東京の新しいアーバンツーリズム お台場を歩く	有馬 貴之 144
第4章 新しい観光のスタイル ソフトツーリズムと癒しを求める時代	
(1) 地域の祭りと観光	山本 充 154
(2) ピーターラビットと嵐が丘のルーラルツーリズム	菊地 俊夫 163
(3) アルプスの少女ハイジの世界を楽しむツーリズム	小原 規宏 175
(4) 日本のルーラルツーリズム	菊地 俊夫 182
「コーヒープレーク」昭和ノスタルジーを観光の商品に	青梅宿の挑戦 設楽 律司・菊地 俊夫 194
おわりに	菊地 俊夫 203
執筆者プロフィール	205